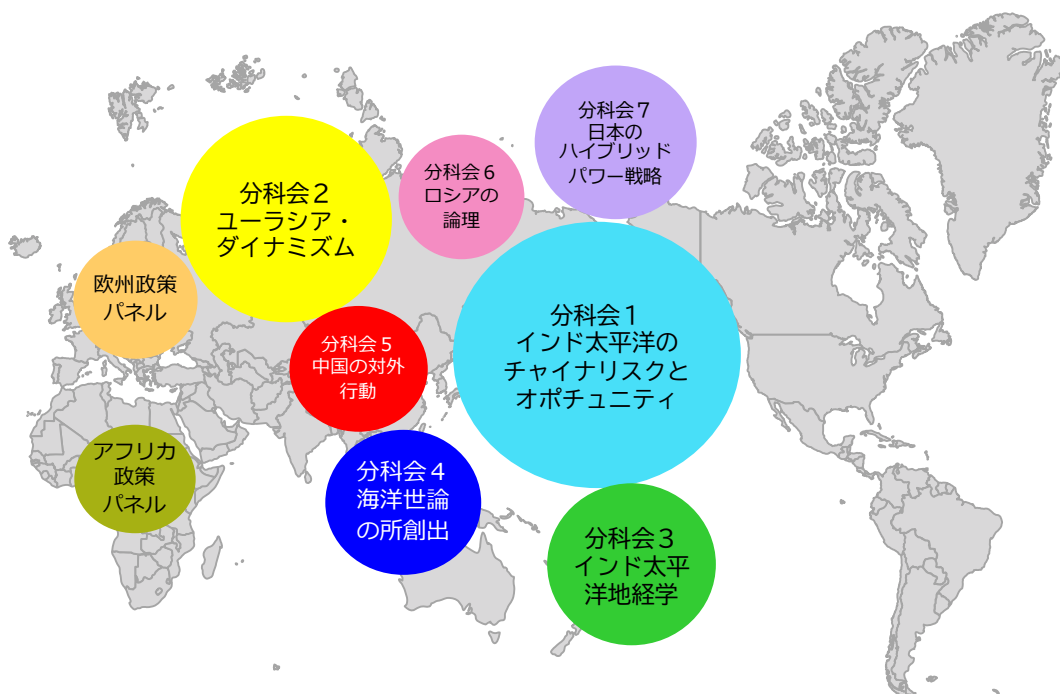


『多元的グローバリズム』時代の世界の多極化と日本の総合外交戦略

特徴1：複層的な世界潮流を踏まえた日本の外交戦略を構想・提言する 全方位型の政策研究の実施



▶ 国際秩序の変容を読み解き日本外交をデザインする

- ①既存のリベラル国際秩序を維持するための戦略構想「インド太平洋のチャイナ・リスクとチャイナ・オポチュニティ（日米合同研究）」（分科会1）
- ②地政学的観点からバランスーとしての日本外交の役割を追求する「ユーラシア・ダイナミズムと日本外交」（分科会2）
- ③FOIPの現実化を地経学的観点から構想する「米中覇権競争とインド太平洋地経学」（分科会3）
- ④海洋秩序維持の協力を模索する「海洋世論の創出～海洋秩序構築の多面的展開～」（分科会4）

▶ 主要アクターの行動原理や最新動向を理解し、日本の外交戦略の実効性を高める

- ①中国とロシアの行動原理を分析・理解する「中国の対外行動分析枠組みの構築」（分科会5）および「ロシアの論理と日本の対露戦略」（分科会6）
- ②欧州・アフリカの最新動向を把握し、日本との協力を模索する「欧州／アフリカ政策パネル」
- ③国内・国際情勢全般の最新動向を把握する合同ヒアリング

▶ 日本の潜在的国力を最大化し、国際プレゼンスを高める方法を探求する

「日本のハイブリッドパワー戦略」（分科会7）



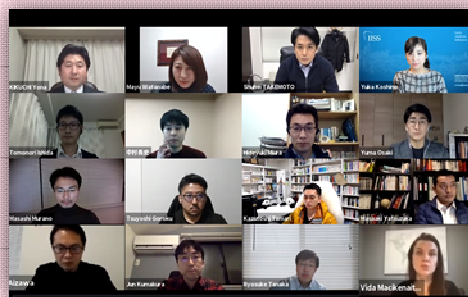
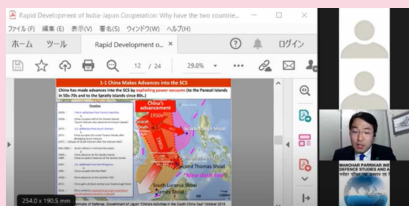
発展型総合事業C 日本国際フォーラム

『多元的グローバリズム』時代の世界の多極化と日本の総合外交戦略

特徴2：発信力のあるオピニオンリーダーとシンクタンクの人材育成をめざす
人材育成プログラムの実施

JFIRライジングスタープログラム（JRSP）

1. 分科会に所属しメンバーの指導を受けながら国際会議での報告や論考作成を実施。
2. JRSPメンバーによる研究プロジェクトの立ち上げ
3. 日本国際フォーラム等の主催する国際会議への出席、及び論考発表の場の提供
4. 意見交換会の開催を通じたネットワーク構築
5. 出版助成などの研究の側面的支援（予定）



リサーチアシスタント

▶各分科会等に所属し、当フォーラム研究員の指導のもと、分科会の日程調整、開催要領の作成、主査及びメンバーへの連絡、議事録の作成、セミナー・シンポジウムの案内作成を行う。

▶プログラム・オフィサーとしての基礎的なノウハウを伝授することで、将来シンクタンクで通用する人材を育成し、シンクタンクの底上げを図る。



発展型総合事業C 日本国際フォーラム

『多元的グローバリズム』時代の世界の多極化と日本の総合外交戦略

特徴3：多様な情報を発信する広報体制

▶ Website等における情報発信

- ・本プロジェクトの特設ページの開設
- ・日本語及び英語版メールマガジンの配信（約1万人に配信）
- ・YouTube上に「JFIR STUDIOS」と題する各種動画の配信
- ・季刊誌「会報」の発行及び配布（毎号3000部印刷）
- ・啓発的な書籍の刊行を通じた、全世代に向けた情報提供



▶ 当フォーラムメンバー等による情報発信

- ・Facebookなどを通じた研究報告やセミナーなどの紹介
- ・学会や大学及び機関などにおける告知活動

▶ その他 企業経営者等への最新の国際情勢理解促進に向けたアカデミックな貢献

「国際政経懇話会」や「外交円卓懇談会」と題する当方主催の勉強会を通じた各種「コーチング」の実施

特徴4：諸外国シンクタンクとの連携強化及び先進的専門家等との人的ネットワークの拡大

▶ 同じ方向性を持つシンクタンク等との連携

- ・カーネギー国際平和財団（共同研究）
- ・欧州政策研究所（共同研究）
- ・国際関係戦略研究所（共同研究）
- ・独国際安全保障問題研究所（共同研究）
- ・アサン政策研究所
- ・欧州外交評議会
- ・インド・オブザーバー・リサーチ財団
- ・上海時代経済発展研究院上海海洋フォーラム
- ・上海外国語大学日本研究センター
- ・韓国国立外交院
- ・上海国際問題研究院
- ・上海市日本学会
- ・インドネシア戦略国際問題研究所
- ・シンガポール南洋理工大学ラジャラトナム国際学院



▶ 先進的専門家等との人的交流

海外側：ダグラス・H・パール、カレル・ラノー、パスカル・ボニファス、ラム・ペンエ、スティーブン・ナギ、陳慶昌、趙宏偉、マイケル・チェイス他

日本側：松原仁、岡本隆司、伊藤さゆり、兒玉和夫、伊藤融、中山俊宏、岩村充、御厨貴他